

2 子どもや家族の状況

(1) 家族形態の変化

家庭は子育てにおける最も重要な存在ですが、家庭を構成する形態は、祖父母などとの多世代同居から親子のみの小家族化へと変化しています。

平成12年の「国勢調査」によると、北海道の一般世帯数は230万6千世帯、その世帯人員は568万3千人で、1世帯当たりの人員は2.46人となっており、昭和55年に3.0人を割り込んで以来、小家族化が進んでいます。

登別市においても、1世帯当たりの人員は2.53人で小家族化が進んでいます。

核家族世帯の状況は、昭和50年の11,425世帯から平成12年には14,514世帯へ増加傾向にあります。

特に、単独世帯（ひとり暮らし世帯）については、昭和50年の1,000世帯から平成12年には5,173世帯と大幅に増加し、北海道の傾向と同様に、核家族化、小家族化などが進行しています。

●登別市の一般世帯数と核家族世帯 (単位：世帯)

年次\項目	一般世帯数	うち核家族世帯数	一般世帯人員	一世帯人員数 (北海道)
昭和50年	14,350	11,425	48,660人	3.39人(3.12人)
昭和55年	17,768	13,125	55,126人	3.10人(2.99人)
昭和60年	19,142	13,829	56,395人	2.95人(2.89人)
平成2年	19,510	13,840	53,806人	2.76人(2.73人)
平成7年	21,232	14,451	54,973人	2.59人(2.56人)
平成12年	21,609	14,514	53,062人	2.45人(2.42人)

資料：総務庁「国勢調査」

●登別市の一般世帯の家族類型別割合の推移 (単位：世帯)

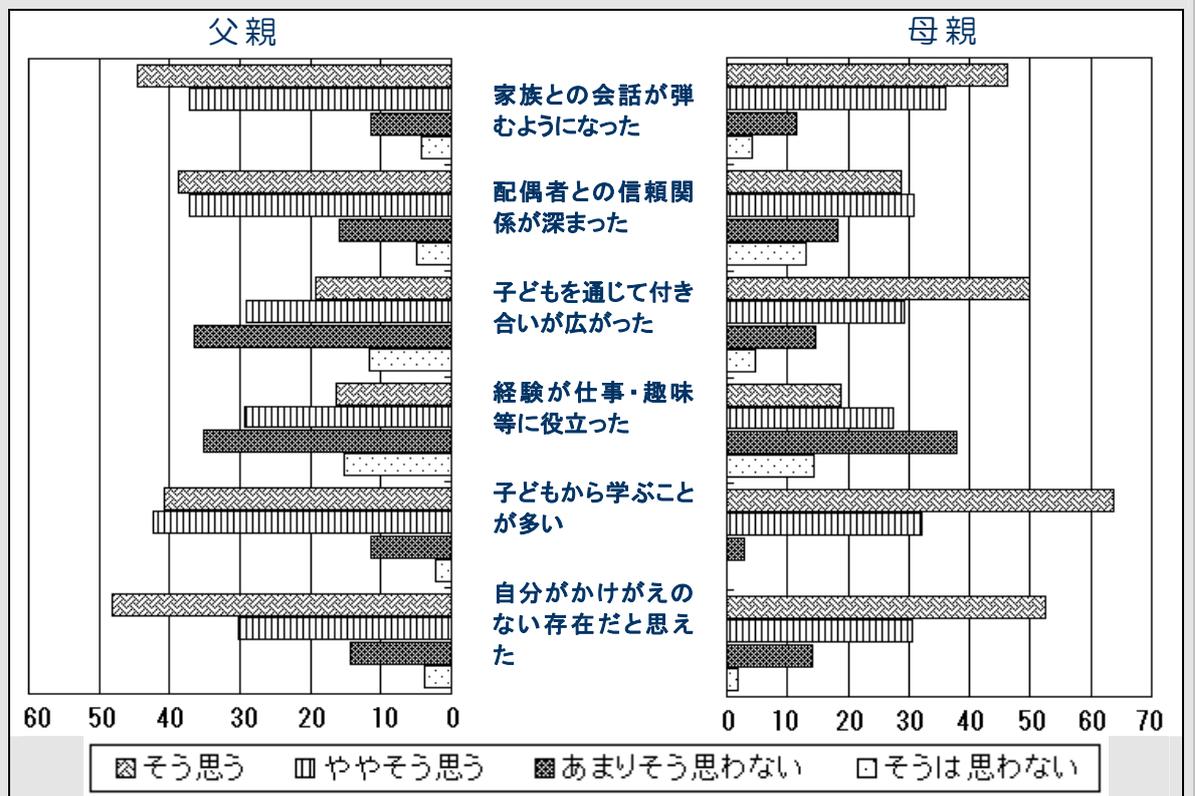
年次\項目	核家族世帯			その他の親族世帯	単独世帯	
	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親と子			
昭和50年	2,675	8,000	750	11,425	1,925	1,000
昭和55年	3,382	8,852	891	13,125	2,063	1,622
昭和60年	4,310	8,263	1,256	13,829	2,155	3,158
平成2年	5,135	7,341	1,364	13,840	2,008	3,662
平成7年	5,900	7,037	1,514	14,451	2,042	4,739
平成12年	6,367	6,492	1,655	14,514	1,852	5,173

資料：総務庁「国勢調査」

核家族化の進行により、これまで家族や地域の中で受け継がれてきた子育ての知識や経験が、次代を担う子育て世代に伝わらなくなり、子育てに不安を感じる家庭の増加要因にもなっています。

また、地域での交流が希薄化することにより、出産や子育てなど日常生活にかかわる様々な情報交換や子ども同士を含む地域住民とのふれあいの機会が少なくなり、子育て中の家庭では、過保護や過干渉、虐待といった親子関係の問題が生じやすくなると指摘されています。

登別市が行った「生活意識調査」では、子育ての良さについては、「子どもから学ぶことが多い」、「自分がかげがえのない存在だと思えた」など肯定的な回答が多い結果となっています。

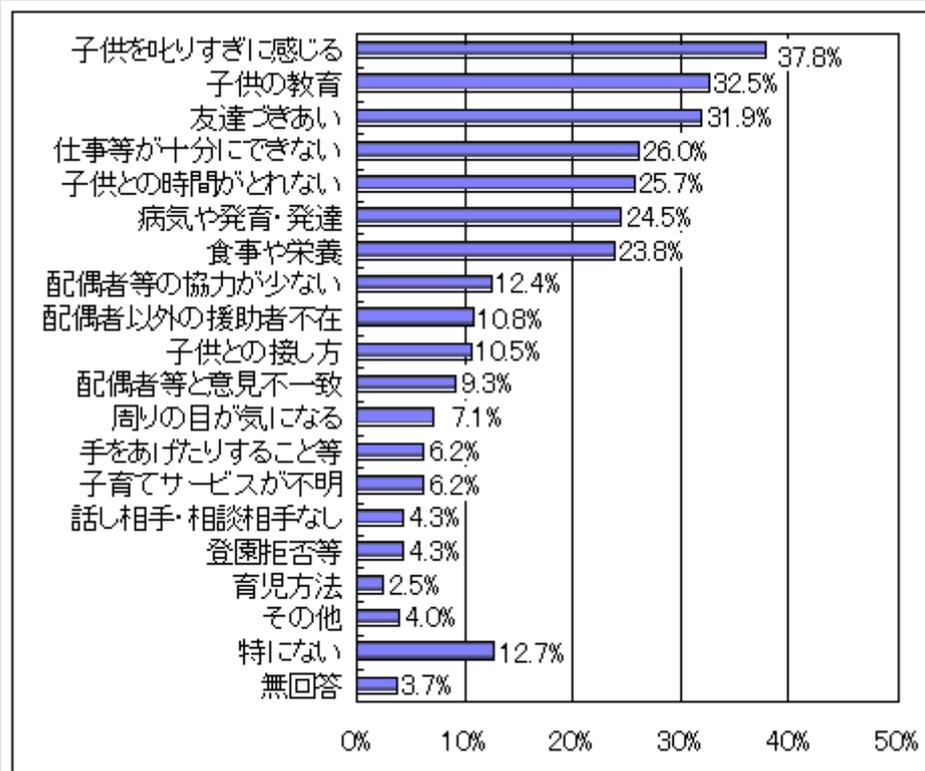


資料：父親用・母親用 世代育成支援に関する生活意識調査

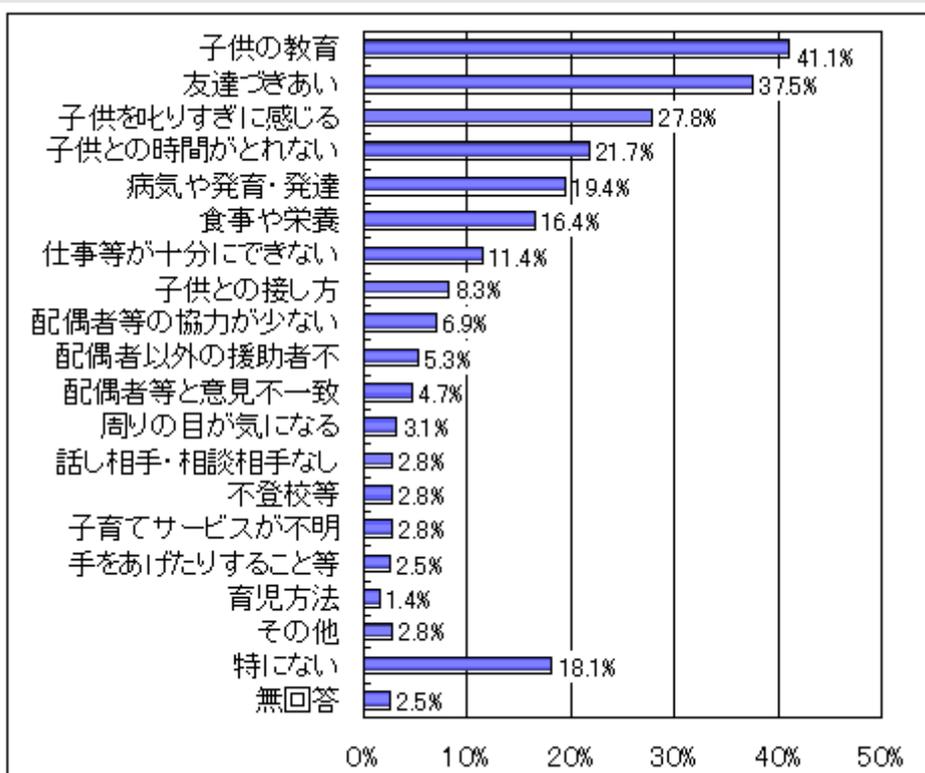
一方、子育てについての悩みでは、就学前児童用ニーズ調査では「子供をしかりすぎに感じる」「子供の教育」「友達つきあい」などとなっています。

また、小学校児童用ニーズ調査では、「子供の教育」「友達つきあい」「子供をしかりすぎに感じる」などに悩みを持っています。

○子育てに関して悩んでいること・気になること（就学前児童用ニーズ調査）

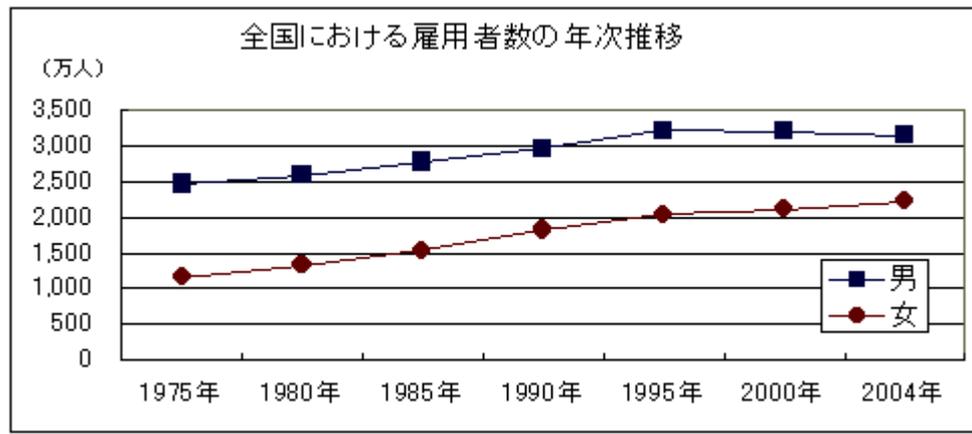


○子育てに関して悩んでいること・気になること（小学校児童用ニーズ調査）



(2) 女性の社会進出

女性の高学歴化や晩婚化などを背景に、働く女性が増加し雇用者の約4割になっています。

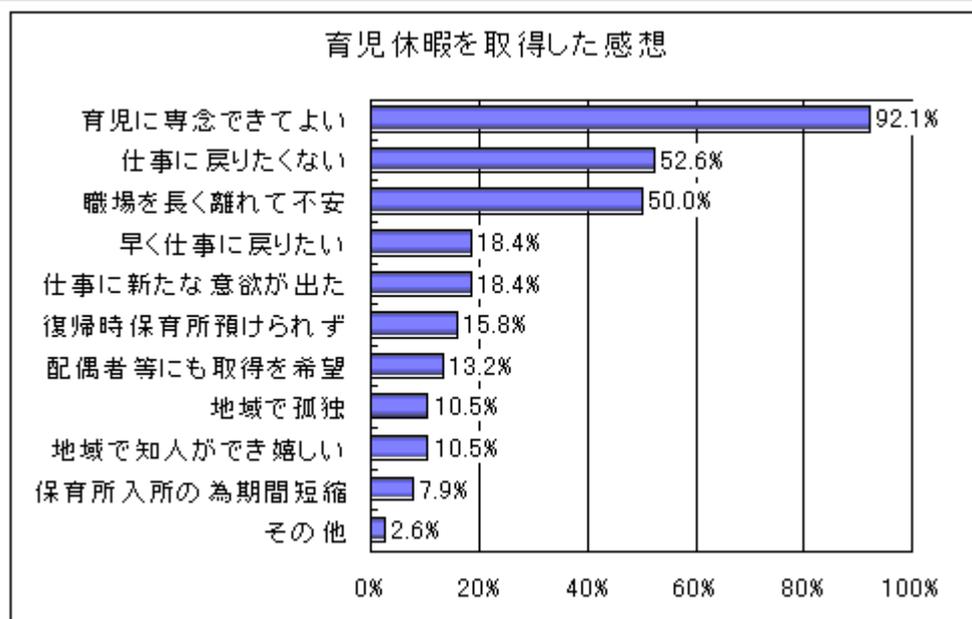


資料：総務庁労働力調査年報季節調整値（各年3月分）

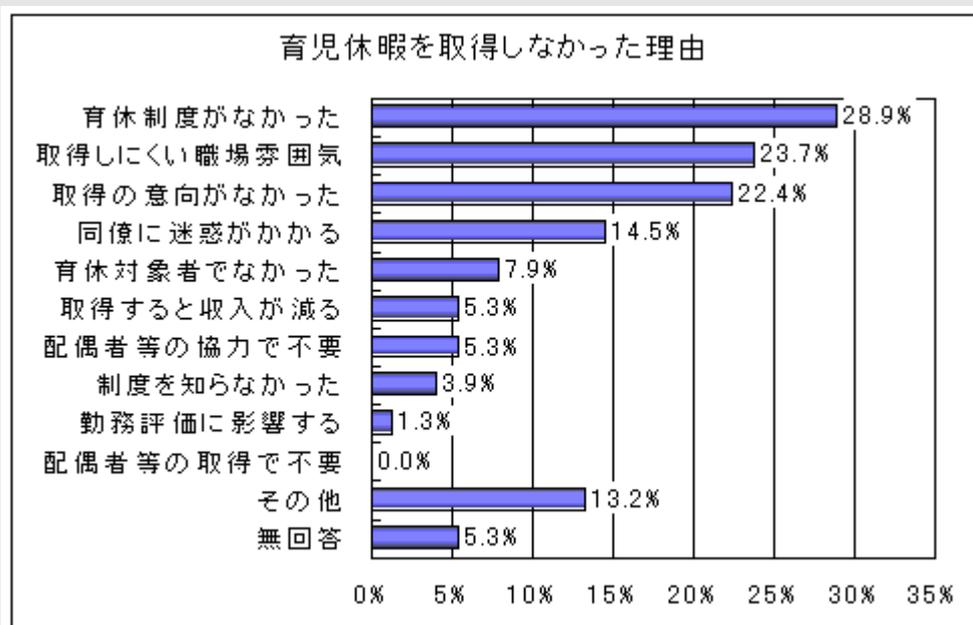
女性の社会進出や生き方の多様化により、これまでの「男は仕事、女は家庭」という男女の固定的な役割分担に関する意識や子育ての多くを女性に頼る生活習慣が、変化しつつあります。

このため、男女が協働して子育てを担い合うことができるよう、雇用環境や地域における子育てに関する支援体制の充実が必要となっています。

次世代育成支援に関する生活意識調査（母親用）で調査数296人中「育児休暇を取得した」38人（12.8％）に、育児休暇を取得した感想（複数回答）を聞いたところ、「育児に専念できて良い」が92.1％で大多数が子育てに良いと感じていますが、反面「職場を長く離れて不安」が50％あります。



次に、同調査（母親用）で「育児休暇を取得しなかった」76人（25.7%）に、育児休暇を取得しなかった理由（複数回答）を聞いたところ、「育児休暇制度がなかった」が28.9%「取得しにくい職場雰囲気」など職場環境による理由が多くありました。



また、同調査で子育てしながら働く上での問題について聞いたところ、「子育ての時間が足りない」が母親用で53.6%、父親用で34.2%といずれも一番多い回答でした。

